



三原市長  
五藤 康之

新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新春を健やかに迎えのことに、心からお慶び申し上げます。また、平素より市政にお寄せいただきありがとうございますご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、8月に如水館高等学校が3年ぶり6回目の夏の甲子園大会に、また、年末には、第五中学校が7年ぶり4回目の全国中学校駅伝大会に出場されるなど、その選手たちの活躍や精一杯のプレーは、私も含め、皆様に勇気と希望を与えてくれました。

そして、市民の皆様におかれましては、まちづくり活動団体や自主防災組織などの活動が活発に行われ、協働のまちづくりに対する高い意識と行動力に心強さを感じております。

一方、一昨年から続く経済不況による景気後退と雇用不安、そして新型インフルエンザの流行など、皆様には心配事の多い年だったのではないのでしょうか。また、国政では政権交代が行われ、これからの政治のあり方が大きく変わろうとする年でもありました。

こうした中、本市においては、本年、今後の三原市の進むべき方向である、長期総合計画後期5か年の計画をスタートさせ、私の2期目の第2ステージとして、現実を直視する中で、私のまちづくりの理念である「住み続けたい元気なまちづくり」、「心豊かに安心して暮らせるまちづくり」を進めるための重要な年であると位置づけております。

これらのまちづくりにおける主役は、市民の皆様です。皆様と行政が協働で地域を創り、守り、育んでいかなければなりません。そのためにも、本市の恵まれた産業基盤と、交通の利便性、豊かな自然を土台として、皆様の豊かな知恵と力その全てを結集し、行政との相乗効果を創出しながら、皆様とともにまちづくりを進めてまいります。

今後、三原市のまちづくりに向け、職員共々まい進してゆく所存でございますので、皆様のより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとって、明るい話題の多い、そして健康で素晴らしい年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ





三原市議会議長  
高下正則

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、我が国では、昨年、政権交代が行われ、政治と行政の仕組みが大きく変わる転換期にあります。一方、経済情勢は、一昨年以来の世界的な景気悪化の影響を受けて、我が国においても景気が低迷しております。雇用情勢は依然として極めて厳しい状況にあり、先行きは不透明で不安定な経済情勢が続く見通しであります。

このような状況のもと、本市を取り巻く財政環境は、景気の低迷による税収の落ち込みなど大変厳しい状況にありますが、少子高齢化の進展、学校施設の耐震化、環境対策、中心市街地の活性化など、行政課題はますます増大しております。

また、地方分権の進展により、三原市は住民のニーズを的確に把握し、自主的、自立的に地域づくりに取り組み、自らの判断と責任において行政運営を行うことが求められております。

私ども市議会は、市の将来像であります「海・山・空 夢ひらくまち」の実現に向けて、市行政との連携を図りながら、政策提言などを通じて市民の皆様の声をまちづくりや反映させるよう努めるとともに、公正・公平で効率的な市政運営を推進するため、市の執行機関に対する監視機関としての責任を認識し、議会としてのチェック機能を十分に発揮してまいりたいと思っております。

昨年の12月定例議会から、本会議での一般質問などのやりとりを、よりわかりやすくするため、「対面による一問一答方式」を取り入れました。今後とも、さらに身近に感じられる開かれた議会を目指して取り組んでまいりたいと考えております。

今年も、市民の代表という自覚のもと、全力を挙げて諸課題の解決と市政発展に努めてまいりますので、どうぞよろしく願います。

終わりに、皆様のご健康とご多幸を、そして三原市の発展を祈念し、年頭のごあいさついたします。